

令和2年6月18日（木） 午後1時30分～@佐渡市議会

◎持続可能な地域づくりの実現に向けて
【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案

(1)新型コロナウイルス対策を踏まえた「新しい生活様式」について

- ①佐渡市の財政状況と令和2年度の補正予算による反転攻勢
- ②市民および島内事業者（法人・個人）への支援策
- ③小中学校・執行部・議会へのタブレット（電子機器端末）導入

(2)持続可能な地域づくりについて

- ①ソフト・ハード両面の防災減災対策による安全安心な島づくり
- ②オンライン観光や地域の情報化による観光地域づくり
- ③コロナ後の生き方を見直すUターン促進による人口減少対策

(3)佐渡金銀山の世界文化遺産登録について

- ①新潟県内唯一の世界遺産登録という記念日を条例制定へ
- ②さどまる倶楽部会員10万人、関係人口100万人創出への礎として
- ③国連のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みをSaDoGsへ



http://hiroshimurooka.com/documentandscript_202006

令和2年6月定例会 一般質問資料

三度のメシより佐渡が好き！！！！ 政風会 代表 室岡啓史

▼佐渡市の予算・決算を家計に例えると・・・

◆佐渡市の予算・決算について単位の「億円」を「万円」に読み替える

2020年度佐渡市一般会計当初予算案は445億円です。

佐渡市の予算も決算も、「億円」を「万円」に読み替えると、佐渡家の家計に見えてきます。

▼佐渡市の歳入に占める市税等の内訳

平成30年度佐渡市一般会計決算額：480億円

市税	：	51億円	(10.6%)
地方交付税	：	210億円	(43.8%)
国庫支出金	：	33億円	(6.9%)
県支出金	：	43億円	(9.0%)
寄付金	：	2億円	(0.4%)
市債	：	60億円	(12.5%)
その他	：	81億円	(16.8%)

基金総額：188億円

市債残高：593億円



「億円」を「万円」に

▼佐渡家の収入に占める稼ぎ等の内訳

平成30年度佐渡家の家計決算額：480万円

稼ぎ	：	51万円	(10.6%)
祖父母から	：	210万円	(43.8%)
実家の金庫から	：	33万円	(6.9%)
両親から	：	43万円	(9.0%)
カンパ	：	2万円	(0.4%)
借金	：	60万円	(12.5%)
その他	：	81万円	(16.8%)

定期預金額：188万円

借金残高：593万円

◆佐渡家の家計の健全化⇒佐渡市の財政健全化に向けては、下記4点あると思います。

①ムダづかいを減らす。

⇒スクラップ&ビルドを進め、あらゆる事業の見直し・改善を図る。

②稼ぎを増やす。

⇒人口減少、企業数減少に歯止めをかける。強い企業や稼げる人材を育成し、法人税や市民税等を増やす。

③もらえるカンパを増やす。

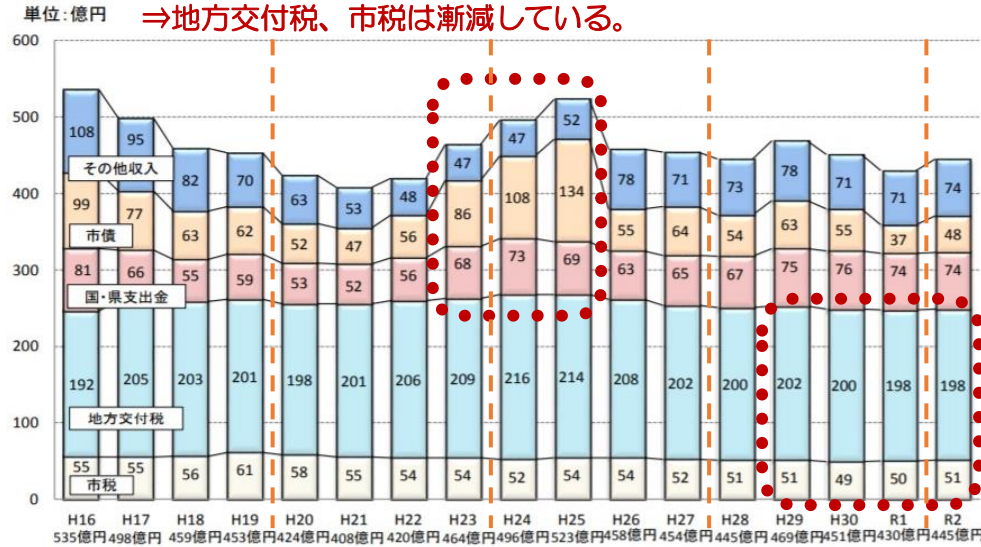
⇒ふるさと納税、企業版ふるさと納税等、個人や法人からの寄付金を増やす。

④もらえる仕送りを増やす。

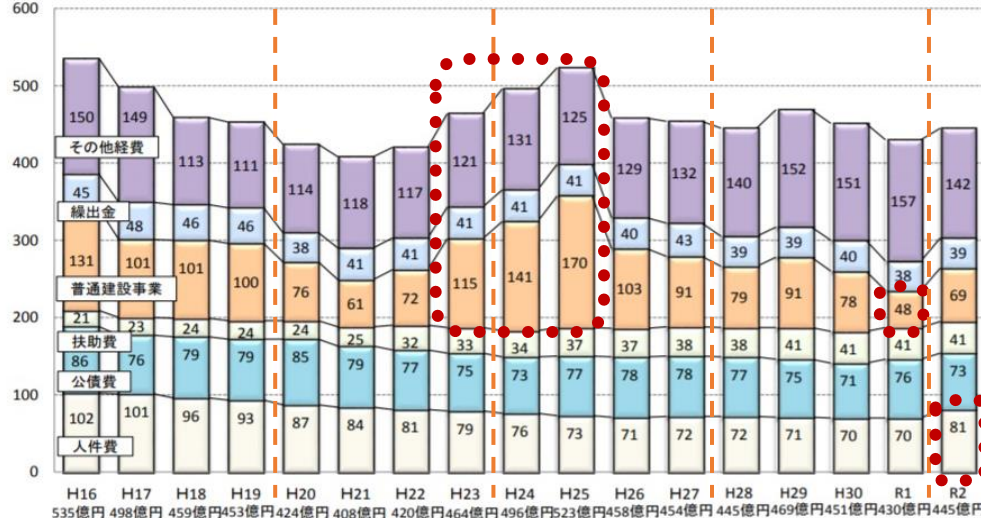
⇒国や県の事業を積極的に活用し、離島のモデルケースとなる。

佐渡市の一般会計当初予算推移と基金残高について

歳入 ◆未来永劫、持続可能な佐渡市の財政運営が必要！



歳出 ⇒人件費は令和2年度から会計年度任用職員制度が始まり、臨時職員分＝物件費が人件費に組み込まれ急増している。



○ 財政調整基金は、老朽化に伴う公共施設の改修、システム更新等による普通建設事業等の増加に伴う財源調整のため、減少が見込まれる。
 ○ その他特定の基金は、地域振興基金における安全・安心まちづくり事業や人材育成事業等への充当、過疎地域自立促進特別事業基金における過疎地域自立促進計画に沿って行うソフト事業への充当、教育文化振興基金における教育の機会均等を図るための奨学金貸与事業等への充当から、今後も基金残高の減少が見込まれる。財政調整基金は令和2年度当初予算編成に約15億円、5月末までのコロナ対策に約5億円切り崩している。



○ 臨時財政対策債は普通交付税の代替として発行する地方債であり、その発行可能額は普通交付税の算定とともに国が決定しているが、年々、減少傾向にある。
 ○ 合併特別債は令和元年度に発行していないことから減少が見込まれる反面、その他債は教育施設の老朽化対策に伴う教育債等の発行により増加が見込まれる。

【出典】令和2年度佐渡市一般会計当初予算の概要

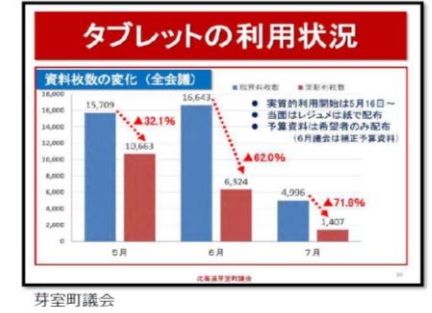
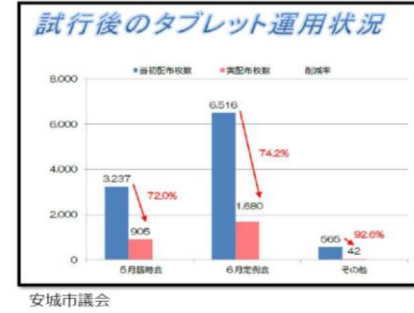
▼タブレットの使用感およびメリット⇒テレワーク推進



▲紙をめくるように次ページへ（裏写り機能あり）

【導入効果】ペーパーレス化の促進

- 紙資料の配布枚数は、大方の予想を上回るペースで減少している
- 印刷業務に伴う労務も同様に大きく減少している



▲ペーパーレス化による印刷費削減<準備の労務費削減

【導入効果】資料携行と地域のコミュニケーション

すべての資料が手元があれば、とっさの質問にも正確な情報をもとに答えることができる



市政報告を行う安城市議会・武田文男議員（地元ケーブルTV取材）

▲質問への正確な情報による迅速な回答⇒市民への貢献

【概論】タブレット導入は「手段」である

- タブレットにはさまざまな役割（機能）があるが、あくまでも役割であって「目的」ではない
- タブレット導入は「手段」として考えるのが妥当
- 議会における「目的」は4つある

- ① 労務改善と効率化 ⇒ 事務局&執行部への貢献
- ② 審査力の充実 ⇒ 議員ひいては市民への貢献
- ③ 調査能力の充実 ⇒ 議員ひいては市民への貢献
- ④ 情報の蓄積と活用 ⇒ 情報を活用する人への貢献

【出典】東京インタープレイ株式会社

▲タブレット導入は、手段。目的は上記4つ。

▼ 『佐渡は世界遺産に！心の新潟県民の日』（仮）条例を！

⇨ 富士山の日

⇨ 富士山の日条例

⇨ ふるさと富士写真館

⇨ あなたの「富士山物語」

⇨ 富士山百人一首

⇨ 富士山百人一句

⇨ 富士山万葉集

⇨ 「富士山万葉集」シンポジウム

⇨ 富士山歳時記

⇨ 富士山漢詩百選

⇨ 「秀景ふるさと富士写真コンテスト」入賞作品

⇨ “ふじのくに”づくり宣言・“ふじのくに”平和宣言

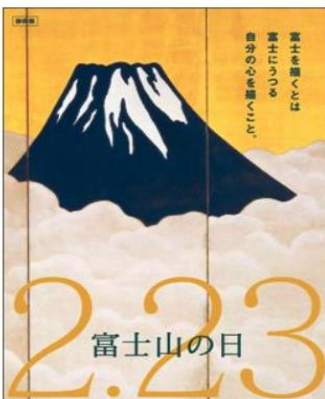
⇨ なるほど！？富士山

⇨ ぬり絵

⇨ 富士山憲章

⇨ 富士山総合案内

⇨ イベント等情報



「富士山の日」制定趣旨、条例

趣旨

国民の財産であり、日本のシンボルである富士山は、その類まれなる美しい自然景観により、人の心を打ち、芸術や信仰を生み出してきました。

こうした偉大なる富士山を抱く静岡県において、すべての県民が富士山について学び、考え、想いを寄せ、富士山憲章の理念に基づき、後世に引き継ぐことを期する日として、2月23日を「富士山の日」とする条例を制定しました。

今後は、「富士山の日」の制定を契機として、富士山環境保全活動や富士山世界文化遺産登録等の取組に対する県民の理解を深めることなどにより、富士山を後世に引き継ぐための県民運動の促進に努めます。

条例（平成21年12月25日静岡県条例第72号）

静岡県富士山の日条例

（目的）

第1条 県民が、世界に誇るべき国民の財産であり、豊かな恵みをもたらしている富士山について理解と関心を深め、富士山を愛する多くの人々とともに、富士山憲章（平成10年11月18日に静岡県と山梨県とが共同して制定したものをいう。）の理念に基づき、富士山を後世に引き継ぐことを期する日として、富士山の日を設ける。

（富士山の日）

第2条 富士山の日は、2月23日とする。

（県の責務）

第3条 県は、富士山の日趣旨にかんがみ、富士山を後世に引き継ぐための県民運動の促進に努めるものとする。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

平成21年12月25日公布

**静岡県・山梨県ともに、
2月23日を語呂合わせで
「富士山の日」と条例制定**

◆世界遺産の理念条例は、一般に都道府県が制定している。北海道、岩手県、山梨県、静岡県などで記念日として条例制定。
⇒佐渡市としても世界文化遺産登録について新潟県民会議、新潟県、新潟県議会、佐渡を世界遺産にする会、佐渡市議会等と要連携！



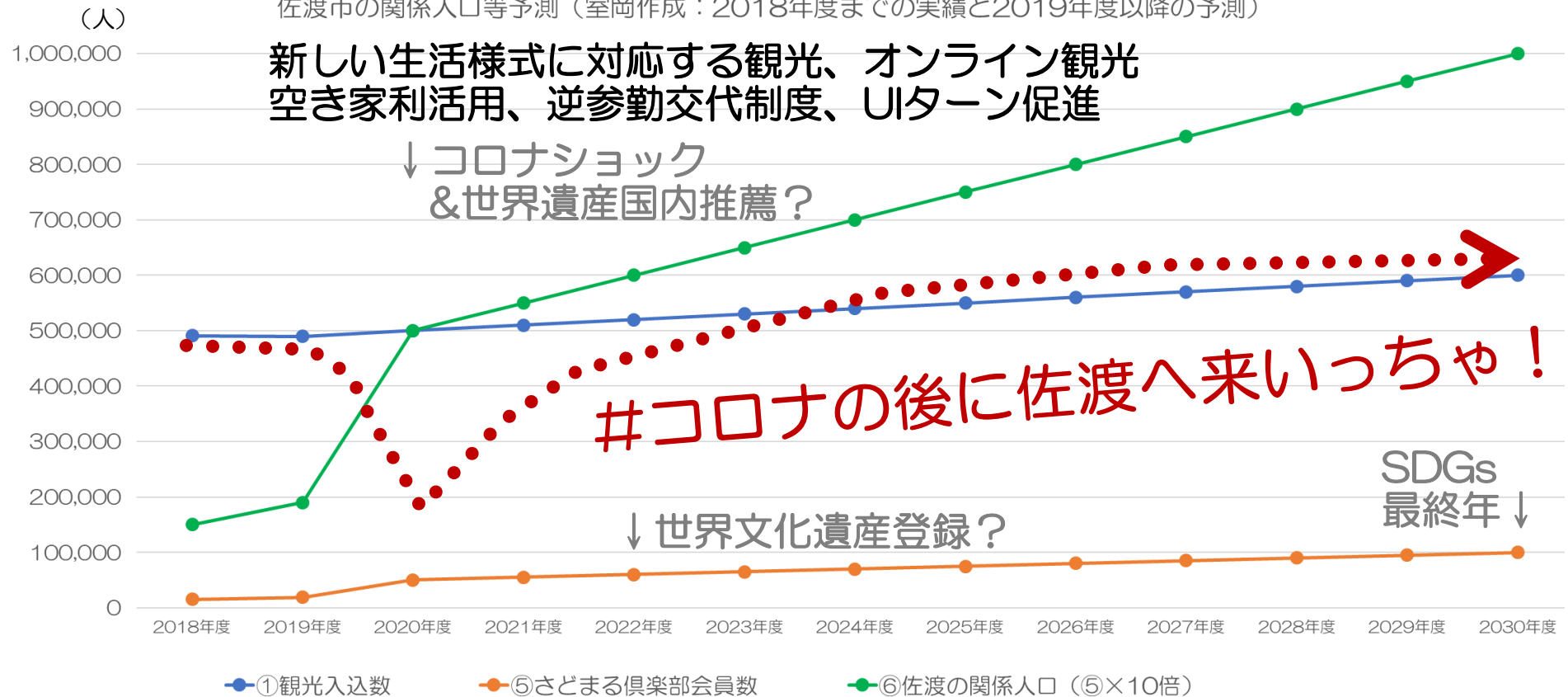
【出典】静岡県公式ページ <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-223/fujisannohi/jourei.html>

▼佐渡市の関係人口等予測 (室岡作成：2018年度までの実績と2019年度以降の予測)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
①観光入込数	491,000	490,000	500,000	510,000	520,000	530,000	540,000	550,000	560,000	570,000	580,000	590,000	600,000
②年間宿泊者数	290,000	294,000	300,000	306,000	312,000	318,000	324,000	330,000	336,000	342,000	348,000	354,000	360,000
③うち訪日外国人観光客泊数	26,000	28,000	30,000	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000
④佐渡汽船利用者数	1,480,352	1,470,000	1,500,000	1,530,000	1,560,000	1,590,000	1,620,000	1,650,000	1,680,000	1,710,000	1,740,000	1,770,000	1,800,000
⑤さどまる倶楽部会員数	15,000	19,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000
⑥佐渡の関係人口 (⑤×10倍)	150,000	190,000	500,000	550,000	600,000	650,000	700,000	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000

2019年12月～ ↑さどまる倶楽部アプリ化、だっちゃんコイン開始 ↑佐渡市は2025年度さどまる倶楽部会員数を10万人と予測！？

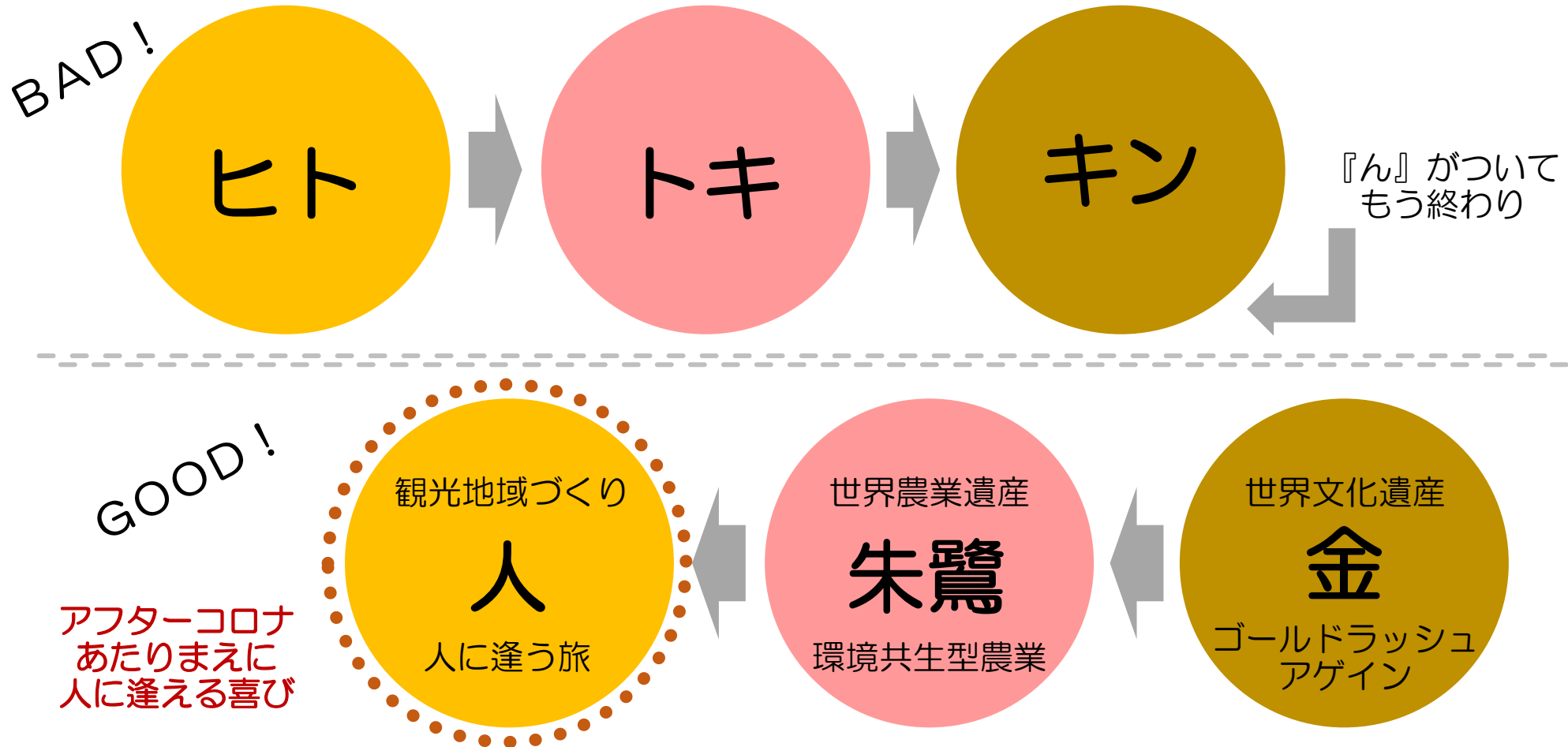
佐渡市の関係人口等予測 (室岡作成：2018年度までの実績と2019年度以降の予測)



▼ヒト⇒トキ⇒キン：しりとりによる佐渡らしさの伝え方 7

◆人に逢う観光 ⇨ 観光地域づくり 佐渡の三大地域資源

大正大学地域創生学部の学生の地域実習で、学生と意見交換をする機会を得た。佐渡の地域資源は、色々あるけれど、人やトキや金山ではないか。気付いたことは、しりとりで佐渡らしさを伝えることができる。しかし、ヒト⇒トキ⇒キンと続くと、しりとりは終わってしまう。観光地域づくりの中で逆の流れをつくることできれば、リピーターの増加、関係人口の創出、ひいては観光振興になるのではないかと考えてきた。



▼SDGsの取り組み ⇒ SaDoGsへ

◆SDGsとは・・・

持続可能な開発目標のことで、Sustainable Development Goalsの略。2015年に国連本部で日本を含む193の加盟国の合意の下で採択された「世界を変革するための17の目標と169のターゲット」のこと。持続可能性を地球規模で考えた時に、非常に重要な目標であり、一部民間企業や日本青年会議所等も力をいれてSDGsの実現に取り組もうとしている状況にある。

SDGs
a o a h i m a

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



【出典】【1分で分かる】世界を変革するための17の目標「SDGs」

◆佐渡市の取り組み・・・

トキとの共生を目指す環境共生型農業をはじめとする生物多様性の推進、レジ袋の有料化、消費者協会が取り組む3010運動、クールビズやゴーヤカーテンをはじめとするクールチョイスなど、既に佐渡市として取り組んでいるSDGsはたくさんある。

⇒まずは情報の整理、佐渡市将来ビジョンへの掲載をするべき！